

フジ・メディア・ホールディングス CSR NEWS



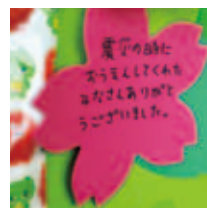
2012 JUN / Vol.1



仙台市郊外で開催した被災地支援イベント『みちのく合衆国』
2日間で被災3県の12,000人をご招待。



陸前高田市・子育て支援センターにて。



東日本大震災から1年3ヶ月… 継続的な支援活動を



被災地の保育園・幼稚園にて
「こどもおうえんプロジェクト」

認定放送持株会社「フジ・メディア・ホールディングス」が発足し、3年半あまりが経ちました。グループ各社と共に新たなメディア集合体を目指す中で、CSR活動もホールディングスの重要な企業活動のひとつとして位置づけています。

グループ各社が様々なCSR活動を続ける中、昨年3月、「東日本大震災」が発生しました。この1年3ヶ月の間、中核子会社フジテレビを中心にグループ各社がそれぞれの本業を生かした多様な被災地支援活動を行いました。

今後もグループ会社が協働してニーズの変化に対応した長期的支援活動を行っていく予定です。

東日本大震災支援活動

震災直後から、こどもたちの支援を開始
被災地の保育園・幼稚園でイベントを開催

フジテレビ こどもおうえんプロジェクト



東日本大震災発生直後、フジテレビでは「こどもおうえんプロジェクト」を立ち上げました。

フジ・メディア・ホールディングス各社・FNS系列各局などから集まったおもちゃや絵本、文房具など（合計3万1千点）を、ニーズを確認した上で被災地へ届け、2011年6月末からはフジテレビアナウンサーによる「出前食育イベント」や「朗読イベント」を開催。

これまでに被災3県の53カ所、約5,000人（2012年3月末まで）の子ども達の笑顔と接してきました。

2012年4月以降は「ずっとおうえん。プロジェクト」として活動を継続しています。

53カ所の保育園・幼稚園を訪問 のべ参加人数約5,000人！

[参加したフジテレビアナウンサーのべ 36人、系列各局アナウンサーのべ 17人]

「こどもおうえんプロジェクト」活動一覧と参加人数 (2011年3月11日～2012年3月31日)

味の素スタジアム 40人 / 東京武道館 60人 / 東京ビックサイト 15人 / 気仙沼市気仙沼中学校 300人 / 気仙沼市障害者支援施設 25人 / 南三陸町ベイサイドアリーナ 70人 / 大槌町吉里吉里小学校 20人 / 大槌町堤乳幼児保育園 40人 / 大槌町赤浜小学校 30人 / 大槌北小学校（大槌高校避難所内）100人 / 釜石保育園（釜石南幼稚園内）50人 / 釜石市甲子小学校 30人 / 福島県会津若松市内の小学校 500人 / 須賀川市須賀川アリーナ 20人 / 郡山市ビッグパレットふくしま 60人 / あづま総合体育館 80人 / 岩手県医師会 / 石巻保育所 110人 / 石巻中央保育所 120人 / 石巻市飯野川保育園 150人 / 石巻市吉浜保育所 60人 / 多賀城市八幡保育所 80人 / 塩釜ひまわり保育園 80人 / 多賀城市大代保育園 40人 / 名取市ゆりあげ小学校（不二ガ丘小学校内）60人 / 宮古市ひかり幼稚園 60人 / 宮古市小百合幼稚園 110人 / いわき市郷が丘幼稚園 90人 / いわき市九品寺付属幼稚園 100人 / 岩手県洋野町 大野農村環境改善センター 120人 / 岩手県洋野町セシリアホール 220人 / 東松島市矢本はなぶさ幼稚園 140人 / 石巻市メロン保育園 90人 / 亘理町吉田保育所 80人 / 亘理町荒浜保育所 40人 / 大船渡市明和保育園 130人 / 大船渡市海の星幼稚園 60人 / 仙台市能仁保児園 100人 / 仙台市中野栄あしぐる保育所 170人 / 南相馬市かみまの保育園 90人 / 南相馬市鹿島幼稚園 150人 / 南相馬市かしま保育園 150人 / 南相馬市北町保育所 35人 / 南相馬市青葉幼稚園 90人 / 南相馬市つよば保育園 75人 / 南相馬市原町聖愛保育園 45人 / 岩沼市チアフル保育園 80人 / 岩沼市西保育所 70人 / 女川町第4保育所 85人 / 女川町第1保育所 70人 / 会津若松市大熊幼稚園 110人 / サポートセンターならは 60人 / 復興山田がんばっし祭り 400人 / みちのく合衆園



たくさんのお便り
いただきました！



震災から1年が経過——
息の長い活動を継続していきます

フジテレビ ずっとおうえん。プロジェクト



2012年4月から「こどもおうえんプロジェクト」をさらに発展させ、長期的・継続的支援を念頭に置いた「ずっとおうえん。プロジェクト」をスタートさせました。

被災地の子どもたちだけでなく家族やコミュニティにまで対象を広げ、フジテレビが持つノウハウを生かした「支援力」で各種イベントを実施していく予定です。これからも息の長い支援活動を続けて行きます。

岩手県陸前高田市で 朗読&マジックショーと映画『ワンピース フィルム ストロングワールド』 無料上映を開催



5月19日(日)、サンビレッジ高田(スポーツドーム)で、牧原俊幸・梅津弥英子アナウンサーによる朗読&マジックショーと、大型LEDビジョンでの『ワンピース フィルム ストロングワールド』上映会を開催しました。映画上映後、主人公ルフィが登場すると会場は騒然。握手会では歓声をあげ記念撮影をしていました。

グループ各社の連携で実現！

このイベントは、フジテレビのCSR推進室とアナウンス室、映画事業局などが協働して企画しましたが、八峯テレビ、フジアールなどフジ・メディア・ホールディングス各社の技術的サポートで、被災地での大型ビジョン使用などが可能になりました。フジ・メディア・ホールディングスの「結束力」で実現し、仮設住宅に住む皆さんに楽しんでいただくことができました。グループ各社で連携して支援活動を行う上での、貴重なモデルケースとなったイベントです。

» 今後の活動予定

『ハロー!どっこくん』 食育イベント継続！

被災地の保育園や幼稚園での食育イベントは、「ずっとおうえん。プロジェクト」の基盤として継続していきます。
詳しくは6ページをご覧ください。

『ふんばろう東日本 支援プロジェクト』と コラボレーション

日本最大級の支援組織『ふんばろう東日本支援プロジェクト』の、女性の就労支援・ミシンでお仕事プロジェクトに協力。お母さん達がポーチなどを作っている会場で、子どもたち向けに食育イベントを開催予定。

気仙沼『竹の会所』で イベントを計画

滋賀県立大学陶器研究室と早稲田大学など10大学が、「みんなで集まる場所もなくなってしまった」という被災地の声を受けて気仙沼に『竹の会所』を創りました。その場所を使用し、地元のみなさんや大学生と朗読イベントを計画。

インド大使館と コラボレーション

日印国交60周年を迎えるインド大使館がこのプロジェクトの主旨に賛同。
インディアンカルチャーセンターで行っているヨガ・ダンス・紅茶セミナーなどのワークショップを企画中です。

東日本大震災支援活動

フジテレビならではの企画力を生かし、大規模に支援イベントを開催

『お台場合衆国2011』大感謝祭無料イベント

『みちのく合衆国』を開催！



震災から1年… 2012年3月17・18日の2日間にわたり、東北支援イベント『みちのく合衆国』を仙台市郊外で開催しました。

『お台場合衆国2011』の収益で実施されたこのイベントには、バラエティDAY、めざましライブDAYにそれぞれ抽選で6,000人をご招待。

フジテレビ系列の仙台放送、岩手めんこいテレビ、福島テレビとも協力し地元の物産品の販売なども行い、期間中18,000人以上が来場。被災地の復興に貢献しました。



今年もやります！
『お台場合衆国2012』
テーマは「新時代」！



昨年は「東日本復興支援」と「節電」をテーマに開催。海外からの大型発電機の導入やソーラー発電の活用をはじめ、被災地区と連携した商品開発及び地元商品の販売、募金箱の設置、売上げの一部の寄付などを行いました。

そして、今年のテーマは「新時代」。フジテレビがお台場に移転して15年という節目にふさわしく“新しい時代の幕開け”となるイベントを目指します。“明るく！楽しく！希望に満ち溢れる”をモットーに、『みちのく合衆国』エリアにて飲食・物販ブースを設け被災地支援を行う予定です。



2011年お台場合衆国の模様

世界12カ国からの応募総数 8,000件

映画『JAPAN IN A DAY
ジャパン イン ア デイ』プロジェクト

『JAPAN IN A DAY ジャパン イン ア デイ』は“2012・3・11の日常”“軌跡の一步”を動画で撮影・投稿してもらい、それらの映像をつなぎ合わせて一本の映画をつくらう！というソーシャルムービープロジェクト。

世界中に応募を呼びかけた結果、応募総数は日本を含む12カ国（日本、イギリス、アメリカ、フランス、ドイツ、中国など）から約8,000件。中には南極大陸からの応募もあり、300時間にもおよぶ映像が届けられました。

製作総指揮に当たるのは、映画界の巨匠、リドリー・スコット氏とトニー・スコット氏。今秋、日本での先行公開を皮切りに、世界各国で上映予定。国際映画祭への出品も視野に入れています。また、この映画の収益の一部は被災地に寄付する予定です。



リドリー・スコット監督

『ブレードランナー』『エイリアン』などで世界的に名高い映画製作者。弟・トニーとともに映画およびテレビのあらゆる作品を製作する「スコット・フリー・プロダクション」を設立。リドリーおよびトニー・スコットは、『JAPAN IN A DAY』の製作総指揮を行う。

一日も早い復興を祈りながら記録した「わ・す・れ・な・い」シリーズ 世界的に評価され、数々の国際賞を受賞

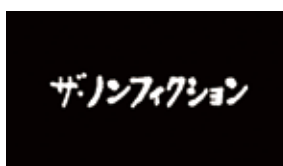
今回の大震災から我々は何を学び何を後世に伝えていくか…

映像の時代に起きた大震災をテレビカメラで記録し、長期にわたり検証を加えていくことがテレビメディアとしての責務。そのような考えのもと情報制作局では、震災に立ち向かった日本人を決して忘れないための横断プロジェクトとして「わ・す・れ・な・い」シリーズを立ち上げました。



『ザ・ノンフィクション』

「わ・す・れ・な・い
～三つの家族の肖像～」



「第16回アジア・テレビジョン・アワード」の時事問題部門で最優秀賞を受賞
「2012ニューヨーク・フェスティバル」ドキュメンタリー・社会／時事問題部門で金賞受賞
「第51回モンテカルロ・テレビ祭」ニュース・ドキュメンタリー部門にノミネート

放送開始から17年を迎える『ザ・ノンフィクション』。震災直後、この『ザ・ノンフィクション』のプロデューサー・ディレクター陣により緊急プロジェクトが結成され、震災で最も多くの人々が亡くなった石巻市で懸命に生きる3組の家族を取材。通常、半年から1年かけて一つの作品を作り上げる彼らが、チーム一丸となり総力をあげて取材を行った結果、震災1か月後にこの番組を世に送り出しました。

その結果“アジア版国際エミー賞”とも呼ばれている「アジア・テレビジョン・アワード」の「時事問題部門」で最優秀賞、「2012ニューヨーク・フェスティバル」の社会／時事問題部門では金賞を受賞、さらに、世界4大フィルム・フェスティバルのひとつと呼ばれている「第51回モンテカルロ・テレビ祭」でニュース・ドキュメンタリー部門にノミネートされました。

『わ・す・れ・な・い 東日本大震災155日の記録』



「第71回ジョージ・フォスター・ピーボディ賞」受賞



震災後、当時まだ世に公開されていなかった映像や被災された方々の証言を、時間をかけ丁寧に取材。その結果、震災の知られざる全容を伝えたこの番組は、当時日本でも大反響を呼び、世界中の優れた放送番組に贈られ、映像界のピューリッツァー賞とも称される「ジョージ・フォスター・ピーボディ賞」を受賞しました。

受賞によって、日本以外の方々にも被災の現実を知っていただき、「忘れない」思いを共有できる機会が増えることは大変意義のあることであり、今後も日本の復興の過程をしっかりと記録に残し後世に伝えていくことがテレビに与えられた社会的使命だと考えています。被災された方々の一日も早い復興を祈りながら、今後も「わ・す・れ・な・い」シリーズを継続的に放送していきます。

その他の「わ・す・れ・な・い」シリーズ

- 『わ・す・れ・な・い 東日本大震災 命の記録』
- 『ザ・ノンフィクション わ・す・れ・な・い ～原発と牛飼い～』
- 『ザ・ノンフィクション 老人と放射能 ～FUKUSHIMA～』

これらは英語版も制作し、日本国際放送 JIBTV に無償提供しました。

東日本大震災支援活動

フジ・メディア・ホールディングス グループ各社が東北にエール！
支援活動の輪が広がっています

戦うようにくらしを。
dinos

株式会社ディノス

「オフキフ」で集まった寄付金で 東北に春を



ディノスでは環境・社会貢献活動チーム「チームD-eco (チームデコ)」を中心として「社会にいいこと」をテーマにさまざまな社内活動を行っています。震災をきっかけにスタートした取り組みのひとつが「オフキフ(OFF 寄付)」。オフィスの蛍光灯の間引きや離席中のパソコンモニターOFFなどにより節約できた電気代を、被災地支援のための活動や寄付に充てるといったものです。

また、社会貢献への意識の高まりはチャリティカタログといった形でも実を結んでいます。題して「東北に春をお届けします」。カタログ『ディノス ウィズ 2011 冬号』でお客様のお買い物1回ごとに10円(一部商品については商品1点につき100円)の寄付ができる仕組みをつくり、「オフキフ」で集まった寄付金と合わせて今年3月、宮城県石巻市、岩沼市の幼稚園・保育園40園と小学校20校など73施設にカーネーションの苗1万2192鉢を寄贈しました。通販のシステムに寄付の仕組みを取り入れることで継続的な活動が実現しています。

ニッポン放送

株式会社ニッポン放送

リスナーとともに被災地へ

『高嶋ひでたけのあさラジ!』 東北応援ツアー！



ニッポン放送の朝の報道ワイド番組『高嶋ひでたけのあさラジ!』(月～金の5時～8時)が企画した「東北応援ツアー」。番組で募集したリスナー80人と、コンサートのリハーサル中に津波に遭遇した歌手のクミコさんがライブゲストとして参加し、2012年6月1、2日の2日間、石巻から平泉、気仙沼などを回りました。番組ではこれまでも被災地の復興の歩みを伝え続けてきましたが、“被災地をこれからも応援していきたい”という番組パーソナリティの高嶋ひでたけやスタッフ、また被災地の支援活動を続けてきたクミコさんらの強い思いから、この企画が実現しました。現地の方々と触れあい、地元のおいしい料理を食べ、ライブで歌い、ツアーを通してまた新しい絆が生まれました。

被災地の「働きたい」の声に貢献

cecile

株式会社セシル

チャリティバザーに 衣料品を提供

2011年6月と9月、香川経済同友会と国際協力団体セカンドハンドの呼びかけによる“被災地支援チャリティバザー”が開催されました。セシルからは約150ケースの衣料品と社員から集めた物資を提供。売上金は、被災地の雇用支援を目的とする「キャッシュ・フォー・ワーク」に寄与されました。今後もこのように長期的視野に立った支援を行っていきたいと考えます。

「キャッシュ・フォー・ワーク」

被災者自身が働いてお金を得ることで被災地復興を促す支援プログラムのこと。地域の中で人とお金が回ることでコミュニティや個人の尊厳・希望を取り戻す、「しごとづくり」を目的としています。

その他 継続的 CSR 活動

「まじめに楽しく！」をモットーに、
フジテレビだからできることを今後も続けて行きます

環境



お台場社屋周辺の 清掃ボランティア活動

2008年から毎月第2、第4月曜日の昼、本社周辺の清掃活動を継続的に実施しています。そして2012年の4月、大型複合施設『ダイバーシティ東京』の開業にともない、そのオフィス棟へ本社移転したグループ会社（フジミック、フジクリエイティブコーポレーション、エフシージー総合研究所、フジアール、バンエイト、NEXTEP、八峯テレビ 順不同）のグループ社員とも力を合わせて、引き続きお台場地域の美しい街づくりに貢献していきます。



社会への 貢献



食育出前授業 『ハロー!どっこくん』



©フジ・メディア・ホールディングス/CSR2010

FCG総合研究所をはじめとするフジ・メディア・ホールディングス各社が協働で行う食育プロジェクト、『ハロー!どっこくん』。子ども達に食と運動、排泄（“いいうんち”を出すこと）の大切さを教えることを目的としたもので、お台場アクアシティでのイベントや、保育園・幼稚園を訪問して行う「食育出前授業」を開催しています。オリジナルキャラクター“どっこくん”をメインに、どっこくん体操や紙芝居を展開。オリジナルブログやCSRホームページでもイベントの様子を公開しています。

どっこくんホームページ > <http://www.fujitv.co.jp/dokko/>

どっこくんオリジナルブログ > <http://blog.fujitv.co.jp/dokko/>



『日本点字図書館』の蔵書朗読録音

目の不自由な方にも本を楽しんでいただくための施設『日本点字図書館』。書籍を音訳し、Recdia（録音システム）で録音したのち、インターネットで配信しています。2009年秋から、フジテレビCSR推進室兼務のアナウンサーたちが、蔵書朗読録音のボランティア活動を継続的に行っています。



フジポッド文庫の寄贈

2006年3月～2009年12月まで配信されていた『フジポッド文庫』。フジテレビのアナウンサー達が日本の名作文学を朗読しているものです。この『フジポッド文庫』をCD化し図書館、盲学校、老人福祉施設、小学校、児童館などの団体に寄贈する取り組みを行っています。CSRのホームページから随時申し込みを受け付け中です。

フジポッド文庫 > <http://www.fujitv.co.jp/csr/fujipod/>